

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃでらしねら 株式会社デラシネラ		
代表者職・氏名	代表取締役・小野寺修二		
制作団体所在地	〒1130034 東京都文京区湯島2-4-3-808		
電話番号	03-3816-7603	FAX番号	03-3816-7603
ふりがな 公演団体名	かんぱにーでらしねら カンパニーデラシネラ		
代表者職・氏名	代表・小野寺修二		
公演団体所在地	〒1130034 東京都文京区湯島2-4-3-808		
制作団体 設立年月	2008年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小野寺修二 代表取締役 小野寺桃子	構成員の数:2名(左記の役職員) 加入条件:カンパニーデラシネラ活動の普及と、より深化した芸術活動を目指す。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	藤田桃子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	日野一義

<p>制作団体沿革</p>	<p>代表・小野寺修二はマイムカンパニー「パフォーマンスシアター水と油」を結成し、1995年～2006年活動。その後、「カンパニーデラシネラ」を立ち上げる。活動の継続が認められ、財団等から依頼を受け、演出を担当することも多い。</p> <p>静岡芸術劇場(「オイディプス」2012年、「変身」2014年・2017年)、高知県立美術館(「異邦人」2010年、「ドン・キホーテ」2016年、「はだかの王様」2021年)、神奈川芸術劇場(「ゲーム」2012年、「Without Signal」2017年、「Knife」2020年)、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館(「オフェーリアと影の一座」2016年)、新国立劇場(「カラマーゾフの兄弟」2012年、「ある女の家」2014年、「ふしぎの国のアリス」2017年、2022年)、東京芸術劇場(「あの大鴉、さえも」2016年)、世田谷パブリックシアター(「現代能楽集IX 竹取」2018年)など。劇場での一般公演の他、マイムを出発とした身体表現の強みを活かし、海外アーティスト・ろう者とのコラボレーション、観客層を広げるために青少年へのアプローチに積極的に努めている。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>平成 29 年度「ロミオとジュリエット」 長野県長野市:信州大学附属長野小学校 1公演 平成 30 年度「ドン・キホーテ」 豊橋穂の国とよはし芸術劇場プラット主催 中学生鑑賞事業4校 岡山県福武教育文化振興財団主催 小学校鑑賞事業 1校 令和元年度「ドン・キホーテ」 北区文化振興財団主催 スクールコンサート 1校 宮崎県都城市総合文化ホール主催 小中学校鑑賞事業3校 令和二年度「ドン・キホーテ」 宮崎県都城市総合文化ホール主催 小中学校鑑賞事業4校</p>			
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>平成 29 年度「ロミオとジュリエット」 筑波大学附属大塚特別支援学校 1公演 平成 30 年度「ドン・キホーテ」 筑波大学附属大塚特別支援学校 1公演</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p>	<p>有</p>	
		<p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
		<p>※公開資料有の場合URL</p>		
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
	<p>PW:</p>	<p>なし</p>		
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p>		
<p>※公開資料有の場合URL</p>				
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>			
<p>PW:</p>				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 カンパニーデラシネラ】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	カンパニーデラシネラ『はだかの王様』			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『はだかの王様』 原作/ハンス・クリスチャン・アンデルセン 演出/小野寺修二 公演時間(60 分)			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	アンデルセン原作の童話『はだかの王様』は、群衆が共有した「幻想」を否定する(子どもが真実を指摘する)ことを軸としていますが、カンパニーデラシネラ『はだかの王様』では、寸度の糾弾という道徳的な切り口だけではなく、真実と嘘、現実と妄想のあやふやな境界線について着目し、身体表現に富んだ一時間の作品に仕上げました。身近にあるただの棒を何かに見立てたり、実際にはないものを観客が想像した結果、見えてくるものの豊かさについて考えています。演出家小野寺修二はパントマイム出身で、身体性に着目した舞台作品を数多く発表しています。またこのプロジェクトは、プロダクトデザイナー石黒猛を美術家として迎え、作品中の様々な小道具が電動で動く仕組みとなっています。体育館という日常の空間は、デラシネラと石黒猛の美術によって異空間へと誘われ、観客の想像力によって大いなる非日常へと飛躍します。			
演目選択理由	児童にとって馴染みのある童話『はだかの王様』を、独自の視点から、想像力を大いに刺激するパフォーマンスに展開しています。観客はあらずじを追うだけでなく、表現の可能性や新たな物の見方、視点に気づく機会となります。今作は台詞の一切ない作品で、小学校の低学年から大人まで、男女問わずそれぞれに楽しめる作品と好評頂いています。観客の観察する力と想像する力を、最大限に引き出す演目です。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	演目内で、生徒に問いかける箇所や、生徒に手伝ってもらうシーンがあります。その他、舞台上で生徒(希望者 20 名ほど)と一緒に踊る場面があり、事前ワークショップでその踊りをレクチャーする時間を設けます。また、人物相関図やあらずじが載ったパンフレットを配布し、作品理解が深まるよう努めます。			
出演者	出演/崎山莉奈、藤田桃子、大庭裕介、小野寺修二他 出演者総数 5名			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 5 名 スタッフ: 3 名 合計: 8 名	機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車長: 約4.6 m 台数: 1 台	

【公演団体名 **カンパニーデラシネラ**】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間			2 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	11時	11時～13時	13時～14時	0分	14時～15時	15時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		～約60人(30人以上は、1時限ずつ行う)			
	本公演		10人～400人(1回あたり200人を超える場合は複数回実施)			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>ワークショップでは、体育館にて体操服で出演者と一緒に生徒が動きます。他人とタイミングをあわせ動くことは、他者に対する想像力や、思いやりの心に繋がります。そして出演者の見本から出発し、生徒各々がイメージした動きを、実際に身体を動かしながら体験します。</p> <p>【内容】相手の真似やピタッと止まる人形振り、それぞれの身体に着目してみる。二人組みになり相手と一緒に動く。お互いに相手を支えたり、交互に動くゲーム。演目中で行われるマイムの動きを、同じく実際に身体を動かしてみることで、本公演での作品理解がより深まります。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>パントマイムで大切なことは想像力と、物事をよく観察することです。その二つをテーマに、相手の真似をすることから始め、随時発表の機会を交えながら、お互いに見合い尊重しあいながら、いろいろな動きに取り組みます。パントマイムの特性である創造性と想像力を大切にし、舞台を身近に感じてもらえるよう、事前に学校を訪れ、生徒とコミュニケーションを取りたいと考えています。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>決して難解な動きではなく、立つ、座る、歩くなど日常の基本動作を起点にしています。そのため、生徒それぞれが可能な範囲で、このワークショップを楽しんで頂けます。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

カンパニーデラシネラ

『はだかの王様』

演出：小野寺修二



『はだかの王様』初演：高知県立美術館（2021年） 撮影：釣井泰輔

デラシネラ版『はだかの王様』について

カンパニーデラシネラは、マイムをベースとした独自の演出で注目を集め、言葉を使わない演劇作品を創作、国内外で作品を発表しています。劇場での作品発表の他、次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいます。

アンデルセン原作の童話『はだかの王様』は、群衆が共有した「幻想」を否定する(子どもが真実を指摘する)ことを軸としていますが、カンパニーデラシネラ版『はだかの王様』では、忖度の糾弾という道徳的切り口だけではなく、真実と嘘、現実と妄想のあやふやな境界線について着目し、身体表現に富んだ一時間の作品に仕上げました。身近にあるただの棒を何かに見立てたり、実際にはないものを観客が想像した結果、見えてくるものの豊かさについて考えます。子どもから大人まで、幅広い層に楽しんでいただける作品となっております。



『はだかの王様』初演：高知県立美術館（2021年） 撮影：釣井泰輔



『はだかの王様』初演：高知県立美術館（2021年） 撮影：釣井泰輔

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F78	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	カンパニーデラシネラ				制作団体名	株式会社 デラシネラ			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数*	不要	条件		体育館内倉庫を使用させて頂ければと思います。 その他別途必要なし。			—	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		2tトラック	1台	バン	1台		不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		2tトラック					不可	
	搬入車両の横づけの要否*		要					可	
	横づけができない場合の搬入可能距離*		30m以内					不可	
	搬入経路の最低条件		階段のない経路が望ましい。					不可	
	理由		重量がある舞台大道具や機材があるため						
	設置階の制限*		エレベーターの設置等があれば2階以上も可					—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		不可	
WSIについて	参加可能人数	約60人(30人以上は1時限ずつ行う)						可	
	学年の指定の有無*	なし	指定学年*				—		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		10人～400人(1回あたり200人を超える場合は複数回実施)					可	
	舞台設置場所*		ステージ上・フロアの両方					不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	11m	奥行	12m	高さ	指定なし	不可
	体育館の舞台を使用 する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		不要					—
		舞台袖スペースの条件*		袖に荷物が無い状態					可
		緞帳*	要		バトン*	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否*		要	理由	ある程度の暗さが必要なため				可
	ピアノの調律・移動の 要否 (調律費・移動費は経 費対象外です)	指定位置へのピアノの移 動*		不要		※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律*		不要					—
	フロアを使用する場合 の条件		バスケットゴールの設置状 況*		格納されていれば可				不可
公演に必要な電源容量		20A	※主幹電源の必要容量				不可		
その他特記事項							応相談		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

